

レアメタル等を含む機器を詳細・高度に分別する リサイクルプラント導入

最新型の破砕機、選別機等を導入し、使用済電子機器等に含まれる鉄、アルミ、銅、貴金属、レアメタル等の資源を有効に回収する。またこれら有用な資源をリサイクルすることで、環境負荷軽減に努める。



取り組みの背景

従来は、顧客である排出事業者から回収した廃棄物を当社に受け入れたのち、手選別でリサイクルできるモノとできないモノに選別していた。リサイクル可能なモノは再商品化事業者（金属素材メーカー）に素材として出荷するが、手選別だけでは効率が悪く、また大まかにしかわけられないモノは不純物が混じることから、「雑品」として再商品化事業者に安く買われてしまう。また、たとえリサイクルできる資源が含まれていても、

多様な素材が混ざった状態だと廃棄物として処理されることもあった。そこで、これまでの手選別以上に効率良く、資源を回収できるようにする必要があった。また、日本ではレアメタル（希少金属）等の有用な資源を、使用済電子機器等から回収・再利用することが社会的に要請されており、それに応えることにもつながる。

取り組みの内容



【リサイクルプラント】

レアメタル等を含む金属構成比率の高い製品・機器類を詳細・高度に分別し、高価値素材となるよう、リサイクルプラントを建設し最

新式の粉砕機・磁石選別機等を設置した。

また、次の技術的課題・目標が解決・達成されることを検証した。

●技術的課題①選別分類の拡大：リサイクルプラン導入によって、選別できる素材の種類が12種類に拡大することを確認した。

●技術的課題②リサイクル率の向上：本事業で導入したリサイクルプラントを利用した実際の売上高（再商品化事業者に販売した売上金額）と、既存施設を利用して生産したと仮定した場合の売上高を比較し、売上高が向上していることを確認した。

●技術的課題③省エネルギー効果によるコスト削減：本事業で導入したリサイクルプラントの使用電力目標を設定し、その達成を確認した。

当社の強み

- 1 「優良産廃処理業者」として再資源化及び環境に与える負荷の少ない取り組みの実施
- 2 国際規格ISO14001認証を取得している
- 3 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律の認定業者である

事業の成果



【破砕分別した非鉄金属(アルミ)】

顧客満足度の向上と新規顧客開拓の展開を実現

リサイクルプラント建設、設備機器導入によって、当社で効率良く破砕、選別することが可能になった。そのため、

- 従来に比べ取り扱えるモノの種類も増え、顧客満足度向上に繋がった。
- 従来再商品化事業者が行っていた破砕、選別の工程も自社で行うことが可能になり、再商品化事業者へ販売する際、より純度の高い素材が提供できるようになった。
- 作業効率が向上し、さらに再商品化事業者へ適正価格で販売できることから、排出事業者からの買い取り価格について、柔軟に対応できるようになった。

このような価値を提供できることで、新規の取引先が拡大した。



【破砕分別した非鉄金属(銅)】

資源の有効な利用の実現

主要な資源の大部分を輸入に依存している日本にとって、資源の確保は重要な課題であった。今回のリサイクルプラント建設、設備機器の導入によって、それらを効率良く回収できるようになり、資源リサイクルを実現することができた。

また近年、最終処分場の逼迫も問題となっているが、リサイクルプラント建設、設備機器導入によって、リサイクルできる素材も増え、廃棄物として埋め立て処分するモノを限りなく減らし、環境負荷軽減にもつながっている。

企業概要

木村工業株式会社

●事業内容：廃棄物処理業

●主要生産設備：自動選別機 破砕機 圧縮梱包機

設 立：昭和43年6月21日

代 表 者：代表取締役 木村鐘一

所 在 地：兵庫県明石市大久保町ゆりのき通1-5-17

T E L：078-936-3425

H P：http://www.kiznax.co.jp/kimura/

従業員数：70人(令和2年12月現在)

資本金：3,000万円

担当者の声



業務部 業務三課 橋本 充弘氏

廃棄物のためにできることを、もっと。

廃棄物の収集・処理業務を適正に行い、環境・安全に配慮することで、サービス及び品質向上に取り組む活動を推進し、これからの地球環境を考える企業を目指します。

当社は、捨てるときに“使える会社”ではありません。廃棄物を立派な資源として捉え一歩先のリサイクルを形にすることで、お客様のその先まで考える。そんな当社らしさを約束します。